

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	難治性ネフローゼ症候群治療薬創製のための研究			
2. 対象患者	弘前大学医学部附属病院小児科において治療を受けられた難治性ネフローゼ症候群患者様。予定症例数：再発中および寛解中(尿蛋白陰性期間中)それぞれ約10人。疾患比較としてネフローゼ症候群以外の尿蛋白陽性疾患(ループス腎炎、IgA腎症/血管炎)で治療を受けられた方；それぞれ約10人。また比較対象のため尿蛋白陰性の疾患(無症候性血尿、ナットクラッカー症候群など)で治療中、通院中の患者様約10人。			
3. 対象となる期間	2010年 4月 1日 ~ 2019年 10月 31日			
4. 実施診療科等	弘前大学医学部附属病院小児科			
5. 研究責任者	氏名	渡邊 祥二郎	所属	小児科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	小野薬品工業株式会社 水無瀬研究所 創薬研究部 神山 祥			
7. 研究の意義	ネフローゼ症候群の治療には、一般にステロイド剤や免疫抑制剤が使用されますが、難治性の経過をたどり副作用に悩む症例が少なくありません。より副作用が少なく効果的な腎臓細胞を直接標的とするお薬の開発が期待されております。			
8. 研究の目的	腎系球体上皮細胞(podocyte)に発現し、細胞骨格安定化に寄与する分子を標的とする治療薬の創薬を目的とします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合があります)	診療上必要な検査(腎生検、血液検査、尿検査)で採取させていただいた検体の残りをを用いて、ネフローゼ症候群を起こす原因物質を探ります。また一部検体を共同研究機関(小野薬品工業株式会社)に送り、実際の患者さんの検体からネフローゼ症候群を起こす物質を探り、その物質を狙ったお薬の開発を行います。検体はすでに診療上採取済みのものの残りを使わせていただくため、新たに身体的、時間的、経済的にご負担をおかけするものではありません。			
10. 個人情報の保護	データ収集および、共同研究機関への検体送付の際は、個人の特定に至る情報については全て削除いたします。また研究・解析データは当科にて厳重に保管します。研究結果を学会や論文で発表する場合においても個人情報は一切含まれません。 対象患者様より拒否の申し出があった場合は、研究データから除外いたします。ただし、拒否の申し出があった際に既に公表済みの場合は、公表済みのデータは修正できませんのでご了承願います。			
11. 利益相反に関する状況	本研究に必要な研究資金は、契約に基づき、小野薬品工業株式会社から提供を受けるため、利益相反状態にあります。ただし、これにより研究成果が不正に歪められるようなことはなく、本研究は弘前大学医学部附属病院小児科の研究グループにより公平・公正に実施されます。 本研究の利益相反状態については、弘前大学医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院小児科 助教 渡邊 祥二郎			
	電話	0172-39-5070	FAX	0172- 39 -5071